



「赤膚焼 唐草彫文様耳付香炉  
(赤膚錦恵山窯)」  
江戸時代・文政3(1820)年  
弘仁寺蔵



大塩昭山 「白檀八角箱写陶管(瑞鳥文)」  
平成18(2006)年 作家蔵



山本哲 「切貝漆匣(ゆたにたゆたに)」  
平成11(1999)年 個人蔵



荒木義人 「武者」  
平成8(1996)年 個人蔵

ご案内 **なら工芸館で開催**

※詳細はなら工芸館までお問い合わせ下さい

○2018年2/2(金)~2/25(日)  
特別企画展「心の古里 古赤膚焼  
奥田木白茶道具名品展  
〜木渡れ日庵 辻井由紀子コレクション〜」

○2018年2/28(水)~3/4(日)  
奈良伝統工芸後継者育成研修制度の修了者と研修者  
による作品展  
『奈良工芸・ミライの力』



●近鉄奈良駅①番出口から徒歩5分  
●J R奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車

日本文化の源流の地である奈良では、古くから優れた工芸品の制作が盛んでした。その歴史に裏打ちされた精緻な技は、日本の伝統文化として脈々と受け継がれてきました。そしてこれらの文化に支えられ、高い芸術性を備えた工芸品が多く生み出されたのです。

本展では美術的にも優れた奈良の伝統工芸として、赤膚焼・奈良一刀彫・奈良漆器を取り上げます。現在、工芸の分野でも芸術性の高い作品が創作されるなかで、奈良の伝統工芸を絶やさず、さらなる飛躍の契機となることを期して、伝統工芸の「これまで」と「現在」の比較展示を行います。近世・近代の匠たちが生み出した名作と、いま活躍する作家たちの力作による美の競演をじっくりとお楽しみください。

工芸美から奈良の歴史文化の奥深さと魅力を紹介し、伝統工芸による産業振興の一助となれば幸いです。

【関連事業】 ※詳しくは美術館までお問い合わせください。

■講演会「大和の美術工芸～近世から近代へ～」

講師:岡本彰夫氏(奈良県立大学客員教授・宇賀志屋文庫庫長)

1/28(日) 13時30分～(約2時間)

会場:レクチャールーム 定員80席・要観覧券・当日先着順(30分前開場)

■美術講座「奈良の伝統工芸・これまでと現在」

講師:当館学芸員

3/18(日) 13時30分～(約1時間)

会場:レクチャールーム 定員80席・要観覧券・当日先着順(30分前開場)

■ギャラリートーク

2/3(土)・2/17(土)・3/3(土)・3/17(土) 14時～(約1時間)

会場:展示室 要観覧券

■ミュージアムコンサート 会場:レクチャールームなど

【作家との協力イベント】

■ワークショップ「漆で箸に絵付けをしよう」

箸の頭に色漆を使って絵付けをします。絵付けした箸は講師の工房で乾燥させた後、参加者のお手元に郵送します。

講師:小西寧子氏(展覧会出品作家)

3/11(日) 11時～、15時～ 会場:レクチャールーム

定員:午前の部・午後の部 各回10名

参加費:1,200円(一膳分)

申し込み:ハガキまたは館内申込用紙で申し込み

【2月18日〆切り・応募多数の場合は抽選】

参加者には2/25頃に当館からご案内します。

※扱う素材の性質上、かぶれる可能性があります。

小学校3年生以下のお子さまは保護者の同伴が必要です。

■公開講座 能楽研究会(能装束の着付け実演)

奈良一刀彫でも主要な題材となる能人形。実際の装束はどのように着付けられ、演者はどのような動きををするのでしょうか。本研究会で能装束の着付けを実演いただきます。

講師:金春穂高氏(シテ方金春流)

2/11(日) 13時～(約2時間) 会場:レクチャールーム

定員60席・要観覧券・当日先着順(30分前開場)

■公開講座 赤膚焼研究会

奈良の伝統的なやきもの・赤膚焼について深く掘り下げます。

研究報告:辻井由紀子氏・村上泰昭氏

2/4(日) 13時30分～(約2時間)

会場:レクチャールーム

定員:80席・要観覧券・当日先着順(30分前開場)

■伝統工芸の道具と材料ってどんなもの?

展示されている伝統工芸で使われる道具や材料を紹介します。

開館中随時



森川杜園 「福の神」  
明治22(1889)年 個人蔵



吉田包春 「短冊管」

大正時代 宇賀志屋文庫蔵

画像提供 奈良国立博物館(撮影:森村欣司)



堀部巨哉 「円明院型菓子器」

大正～昭和時代 宇賀志屋文庫蔵

画像提供 奈良国立博物館(撮影:森村欣司)



奥田木白 「赤膚焼 磨手茶碗」 江戸時代  
近鉄グループホールディングス株式会社蔵

【同時開催】当館ギャラリー 観覧無料  
NPO法人文化創造アルカによる連携事業

連携展示「奈良きたまちの古今拝見」  
連携企画

その①1月27日(土) 13時 宝亀殿による和太鼓演奏(前庭)

その②シリーズ講座「奈良きたまち古今を語る」(全5回)

各日11時～(約1時間) 各回参加料300円

2月4日(日)「高僧忍性と北山十八間戸」

講師:工藤順任氏(般若寺副住職)

2月11日(日)「松永久秀と多聞城」

講師:北村雅昭氏(元若草中学校教員)

2月18日(日)「東向北町が残した萬大帳」

講師:桑原文子氏(奈良市史料保存館学芸員)

2月25日(日)「奈良きたまちに松屋がいた!」

講師:倉橋みどり氏(NPO法人文化創造アルカ理事長)

3月4日(日)「奈良奉行所の名奉行、川路聖謨」

講師:深澤吉隆氏(春日中学校教頭)

その③3月18日(日) 前庭にて「奈良きたまちマーケット」

奈良県立美術館  
Nara Prefectural Museum of Art

〒630-8213 奈良市登大路町 10-6

TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032

テレフォンサービス 0742-23-1700

[ホームページ] <http://www.pref.nara.jp/11842.htm>

[Facebook] <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

奈良県立美術館ファンクラブ  
メール会員募集中!

詳しくは美術館 HP まで

